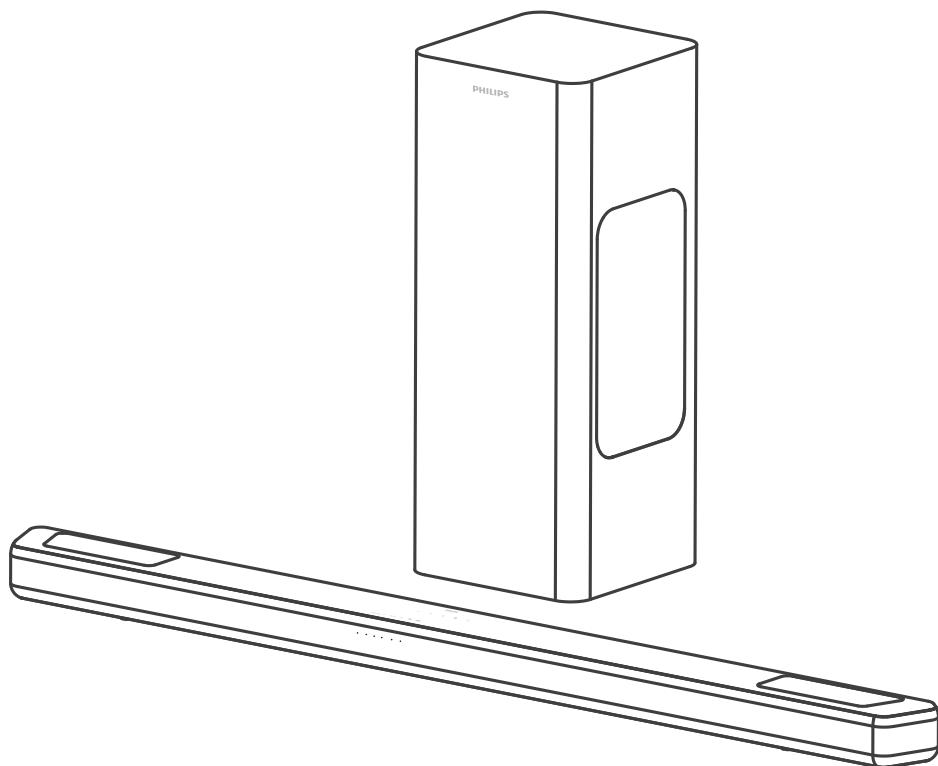


# PHILIPS

サウンドバー  
8000 シリーズ  
TAB8301



## ユーザーマニュアル

製品を登録し、サポートを受けるには、以下にアクセスしてください。  
[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

# 目次

<b>1</b>	<b>安全性に関する重要な注意事項</b>	<b>3</b>	<b>5</b>	<b>製品仕様</b>	<b>20</b>
	安全性	3			
	製品のお手入れ	4			
	環境への配慮	4	<b>6</b>	<b>トラブルシューティング</b>	<b>21</b>
	適合宣言	5			
	ヘルプとサポート	5	<b>7</b>	<b>商標</b>	<b>23</b>
<b>2</b>	<b>あなたのサウンドバー</b>	<b>6</b>			
	パッケージ内容	6			
	サウンドバー	6			
	コネクタ	7			
	ワイヤレスサブウーファー	7			
	リモコン	8			
	リモコンの準備	8			
	取り付け	9			
	壁面取り付け	10			
<b>3</b>	<b>接続</b>	<b>11</b>			
	Dolby Atmos®	11			
	HDMI ソケットへの接続	11			
	電源に接続する	12			
	サブウーファーとのペアリング	13			
<b>4</b>	<b>サウンドバーの使用</b>	<b>14</b>			
	ON と OFF	14			
	音量の調整	14			
	IntelliSound コントロール	15			
	イコライザー (EQ) エフェクトを選択	15			
	LED 表示のオン/オフインジケータ	15			
	DTS Virtual X / Dolby Atmos バーチャライザー	15			
	自動音量調節	16			
	Bluetooth 機器での再生	16			
	外部機器での再生	18			
	USB を使用したオーディオの再生	18			
	工場出荷時の状態にリセットする	19			



# 1 安全性に関する重要な注意事項

製品を使用する前に、すべての指示を読んで把握しておいてください。損傷が発生しても、指示に従わなかったことが原因の場合、保証は適用されません。

## 安全性

安全記号について把握する

マーキング情報は、製品の下部または背面にあります。

	<b>注意</b> 感電の危険があります 開けないでください	
注意：感電の危険を減らすため、カバー（または背面）は絶対に取り外さないでください。内部にはユーザーが修理できる部品はありません。修理は資格を持つサービス担当者に依頼してください。		



これは二重絶縁を備えたクラス II 装置です。ただし保護接地は備えていません。



AC 電圧



この記号は DC 電圧を示しています。



この記号は DC 電源コネクターの極性を示しています。



警告  
警告：感電の危険があります。



エクスクラメーションマーク (!) は、重要な操作上の指示があることをユーザーに警告することを意図しています。



取扱説明書に記載されている電源のみを使用してください。



この記号はエネルギー効率マークを示しています。



屋内専用です。

## 感電や火災の危険

- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。
- 本製品および付属品を雨や水にさらさないでください。液体が入った容器（花瓶など）を本製品の近くに置かないでください。液体が本製品の上にこぼれたり内部に入ったりした場合は、直ちに電源コンセントを抜いてください。本製品の使用前に点検を受けるには、お客様情報センターにお問い合わせください。
- 本製品および付属品は、裸火などの熱源（直射日光を含む）の近くに置かないでください。
- 本製品の換気口などの開口部に物を挿入しないでください。
- 主電源プラグまたは電源接続器を切断装置として使用する場合は、切断装置をすぐに操作できる状態にしておいてください。
- 電池（取り付けた電池パックまたは電池）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 雷が発生しそうな場合は、その前に、本製品の電源コードをコンセントから抜いてください。
- 電源コードを抜くときには、必ずプラグを掴んで引いてください。ケーブルは絶対に引っ張らないでください。
- 本製品は熱帯または温帯の地域で使用してください。

## ショートや火災の危険

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 本製品を電源コンセントに接続する前に、電源電圧が製品の背面または底面に印刷されている値と一致しているようにしてください。電圧が異なる場合は、本製品を電源コンセントに接続しないでください。

## 怪我や本製品損傷の危険

- 本製品を壁面に取り付ける場合は、設置についての指示に従って壁にしっかりと固定してください。付属の壁面取り付けブラケットのみを使用してください（ある場合）。壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 本製品や物を電源コードの上、または他の電気機器の上に置かないでください。
- 本製品が 5°C 未満の気温で輸送されてきた場合は、製品を開梱して製品が室温と同じ温度になるのを待ってから電源コンセントに接続してください。
- 本製品にはガラス製の部品が使用されている場合があります。負傷や損傷を防ぐため、十分注意して取り扱ってください。

## オーバーヒートの危険

- 本製品は絶対に閉鎖空間内に設置しないでください。製品の周囲には 10 cm (4 インチ) 以上の隙間を空けておき、換気ができるようにしてください。カーテンなどの物によって本製品の換気スロットが覆われることがないようにしてください。

## 電池の使用に関する注意

- 注意：正しくない電池交換をした場合には、爆発の危険があります。同じまたは同等のタイプの電池と交換してください。
- 電池が消耗している場合、またはリモコンを長時間使用しない場合は、電池を取り外してください。
- 電池には化学物質が含まれています。リサイクルまたは廃棄については、国や地域のガイドラインに従ってください。
- 装置に記されている「+」および「-」のマークに従って、すべての電池を正しく取り付けてください。
- 古い電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池（カーボン亜鉛電池）、または充電式電池（Ni-Cd、Ni-MH など）を混ぜて使用しないでください。

- 電池（電池または電池パック）は、直射日光や炎などの高温になる熱にさらさないでください。
- 電池を廃棄するときには、燃やしたり焼却炉で処理したり、機械的に潰したり切断したりしないでください。
- 電池を極端に低い気圧下で管理しないようにしてください。

## 注

- 定格ラベルは、機器の底面または背面に貼り付けられています。

## 製品のお手入れ

本製品のクリーニングにはマイクロファイバークロスのみを使用してください。

## 環境への配慮

### 古くなった製品や電池の廃棄



本製品は、リサイクルと再利用が可能な高品質の素材とコンポーネントを使用して設計および製造されています。



製品のこの記号は、製品が欧州指令 2012/19/EU の対象となっていることを意味します。



この記号は、本製品に欧州指令 2013/56/EU の対象となる電池が含まれており、通常のごみと一緒に廃棄できないことを意味します。

電気／電子製品および電池の廃棄については、地域の分別収集システムを把握しておいてください。地域の規則に従い、本製品や電池を通常のごみと一緒に廃棄しないでください。古い製品や電池の廃棄が適切であれば、環境や人の健康に悪影響を及ぼすことがなくなります。

### 使い捨て電池の取り外し

使い捨て電池を取り外すには、電池の取り付けに関するセクションを参照してください。

---

## 適合宣言

本製品は、欧州共同体（EC）の無線干渉要件に準拠しています。

これにより、TP Vision Europe B.V. は、製品が RED 指令 2014/53 / EU および英国無線機器規則 SI 2017 No 1206 の必須要件およびその他の関連規定に準拠していることを宣言します。適合宣言は

[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) にあります。

---

## ヘルプとサポート

[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support) にアクセスすると、次のような広範なオンラインサポートを受けることができます。

- ユーザーマニュアルとクイックスタートガイドをダウンロードする
- ビデオチュートリアルを視聴する（一部のモデルのみについて提供）
- よくある質問（FAQ）から回答を探す
- 質問をメールで送信する
- サポート担当者とチャットする

Web サイトの指示に従って言語を選択し、製品のモデル番号を入力します。

お住まいの国のお客様情報センターにお問い合わせいただくこともできます。お問い合わせいただく前に、製品のモデル番号とシリアル番号を書き留めておいてください。この情報は製品の背面または底面にあります。

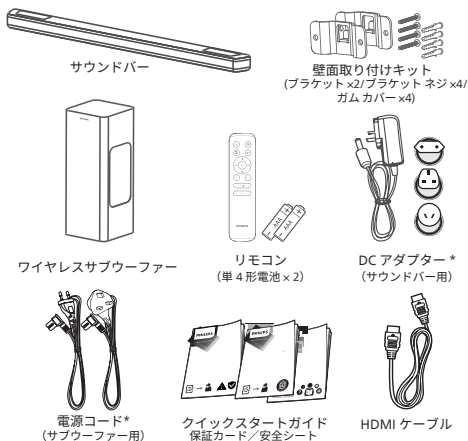
## 2 あなたのサウンドバー

フィリップス製品をご購入いただきありがとうございます。フィリップスが提供するサポートを最大限に活用していただくために、ご購入のサウンドバーを以下でご登録ください。  
[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

### パッケージ内容

次の品目がパッケージに入っていることを確認してください。

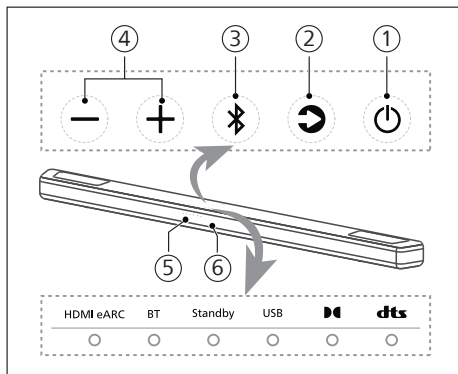
- サウンドバー × 1
- ワイヤレスサブウーファー × 1
- リモコン (単4電池 × 2) × 1
- DC アダプター (サウンドバー用) \* × 1
- 電源コード (サブウーファー用) \* × 1
- 壁面取り付けキット × 1
- クイックスタートガイド / 保証カード / 安全シート × 1
- HDMI ケーブル × 1



- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。
- 本ユーザーマニュアルに記載されている画像および図は、あくまで参考であり、実際の製品の外観は異なる場合があります。

## サウンドバー

このセクションでは、サウンドバーの概要について説明します。



### ① ① (スタンバイ - オン)

- サウンドバーの電源をオンにするか、スタンバイ状態にします。
- 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ (15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる) が有効または無効になります。
- 「自動スタンバイを無効にする」オプションを選択すると、製品のエネルギー消費量が増加します。

### ② ② (ソース) ボタン

サウンドバーの入力ソースを選択します。

### ③ ③ (Bluetooth) ボタン

- Bluetooth モードを選択するときに押します。
- 3 秒間長押しすると、Bluetooth ペ어링モードになります。
- 8 秒間長押しすると、すべての機器が切断され、BT 接続履歴リストがクリアされ、ペアリングモードになります。

### ④ ④ (+/-) (音量) ボタン

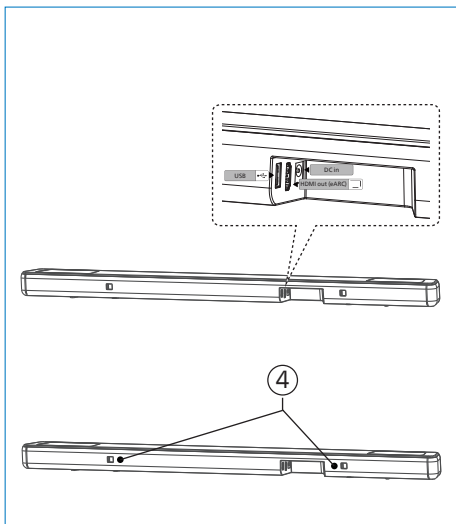
音量の上げ下げを行います。

### ⑤ ⑤ リモコンセンサー

### ⑥ ⑥ サウンドバーの LED インジケーター

## コネクター

このセクションでは、サウンドバーで使用できるコネクターの概要について説明します。



### ① USB

- USB ストレージデバイスを接続してオーディオメディアを再生します。
- この製品のソフトウェアをアップグレードするためにも使用します。

### ② HDMI eARC ソケット

このポートは eARC/ARC HDMI 機能をサポートし、テレビの HDMI (eARC/ARC) 入力に接続します。

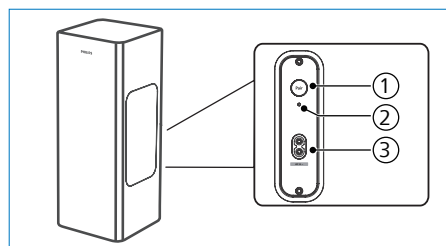
### ③ DC 入力ソケット

アダプタに接続します。

### ④ 壁掛けブラケットスロット

## ワイヤレスサブウーファー

このセクションでは、無線サブウーファーの概要について説明します。



### ① Pair (ペアリング) ボタン

長押しすると、サブウーファーのペアリングモードになります。このボタンは手動ペアリングにのみ使用されます。(ユニットの電源を [ON (オン)] にするとサウンドバーとサブウーファーは自動的にペアリングされるため、[Pair (ペアリング)] ボタンを押さないでください)

### ② サブウーファーインジケータ

ワイヤレスサブウーファーのインジケータに基づいてステータスを確認します。

LED の状態	ステータス
速く点滅	サブウーファーがペアリングモードです
点灯	接続/ペアリングに成功しました
ゆっくり点滅	ペアリングされていません

### ③ AC IN ~ ソケット

電源に接続します。

## リモコン

このセクションでは、リモコンの概要について説明します。

- ① **⏻ (スタンバイオン)**
  - サウンドバーをオンまたはスタンバイに切り替えます。
  - 電源オン状態で 8 秒間長押しすると、自動スタンバイ (15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる) が有効または無効になります。
- ② **🔊 (IntelliSound)**

AI / プリセット / カスタム モードを選択します。
- ③ **Vol + / Vol - (サウンドバーの音量)**

サウンドバーの音量を調節します。
- ④ **EQ**

イコライザー (EQ) 効果を選択します。
- ⑤ **Treble +/- (トレブル+/-)**

高音レベルを調整します。
- ⑥ **Bass +/- (低音+/-)**

低音レベルを調整します。
- ⑦ **🔍 (ソース)**

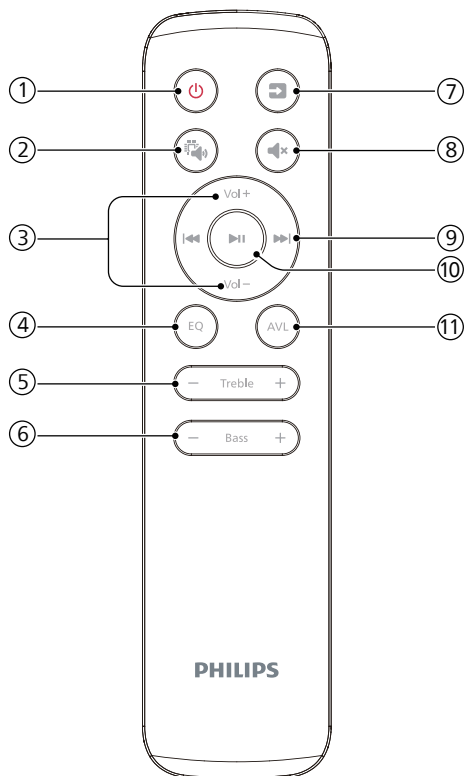
ボタンを押して、サウンドバーの入力ソースを選択します。
- ⑧ **🔇 (ミュート)**

ミュートまたは音量を復元します。  
5 秒間長押しすると、LED 表示が有効 / 無効になります。
- ⑨ **⏮ / ⏭ (前へ / 次へ)**

USB / BT モードで前または次のトラックにスキップします。
- ⑩ **▶ (再生 / 一時停止)**

USB / BT モードで再生を開始、一時停止、または再開します。
- ⑪ **AVL**

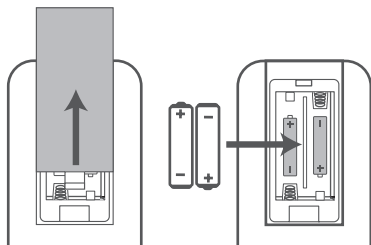
自動音量調節と夜間モード。



## リモコンの準備

- 付属のリモコンを使用すると、離れた場所からでもユニットを操作できます。
- 有効範囲の 6 m (19.7 フィート) 以内でリモコンを操作していても、ユニットとリモコンの間に障害物がある場合には、リモコンの操作ができなくなることがあります。
- 赤外線が発生する他の製品の近くでリモコンを操作している場合、または赤外線を使用した他のリモコン装置がユニットの近くで使用されている場合には、リモコンが正しく動作しないことがあります。逆に、他の製品側が正しく動作しないことがあります。

## リモコンの電池を交換する



- 1 背面カバーを押した状態でスライドさせ、リモコンの電池収納部を開きます。
- 2 単4形電池2本(付属)を入れます。電池の「+」側と「-」側が、電池収納部に表示されている「+」側と「-」側に一致していることを確認します。
- 3 電池収納部のカバーを閉じます。

## 電池に関するご注意

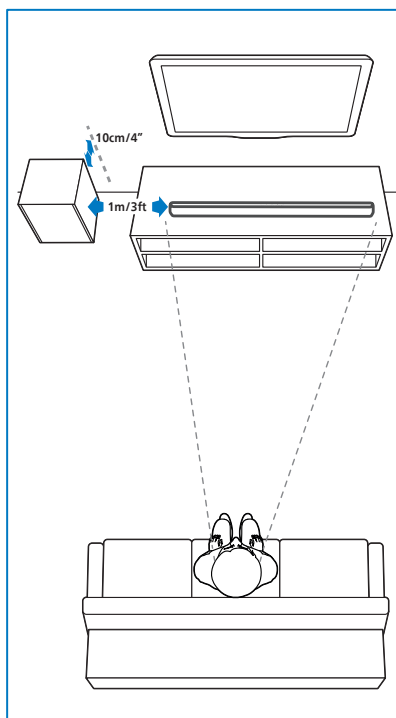
- 電池は、正の「⊕」と負の「⊖」の極性が正しい状態で挿入してください。
- 同じタイプの電池を使用してください。タイプの異なる電池を一緒に使用しないでください。
- 充電式電池パックと非充電式電池パックのどちらも使用できます。ラベルの注意事項を参照してください。
- 電池カバーと電池を取り外すときには、爪を痛めないように注意してください。
- リモコンを落とさないでください。
- リモコンに何らかの衝撃が加わらないようにしてください。
- リモコンの上に水や液体をこぼさないでください。
- リモコンを濡れている物の上に置かないでください。
- リモコンは直射日光の当たる場所や、高温になる熱源の近くに置かないでください。
- リモコンを長期間使用しない場合は、腐食や電池の液漏れが発生し、怪我、物的損傷、火災などの原因となる可能性があるため、本体から電池を取り出しておいてください。

- 指定の電池以外は使用しないでください
- 新しい電池を古い電池と一緒に使用しないでください。
- 充電式であることが確認できない電池は、絶対に充電しないでください。

## 取り付け

サブウーファーは、サウンドバーから少なくとも 1 m (3 フィート)、壁からは 10 cm 離して設置します。

最適な音響効果を得るには、下の図のようにサブウーファーを配置します。



## 壁面取り付け

### 注

- 壁面取り付けが不適切だと、事故、負傷、または損傷が発生することがあります。ご不明な点は、お住まいの国のお客様情報センターまでお問い合わせください。
- 壁面に取り付ける前に、壁がサウンドバーの重量を支えられることを確認してください。
- 壁面に取り付ける前に、サウンドバーの底部にあるゴム製の脚を取り外す必要はありません。ゴム製の脚は取り外すと元に戻すことができません。
- 壁面取り付けのタイプに応じて、適切な長ささと直径のネジを使用してください。
- サウンドバーの背面にある USB ポートが USB デバイスに接続されているかどうかを確認してください。接続された USB デバイスが壁面取り付けに影響を与える場合は、適切なサイズの別の USB デバイスを使用する必要があります。

### ネジの長さ／直径

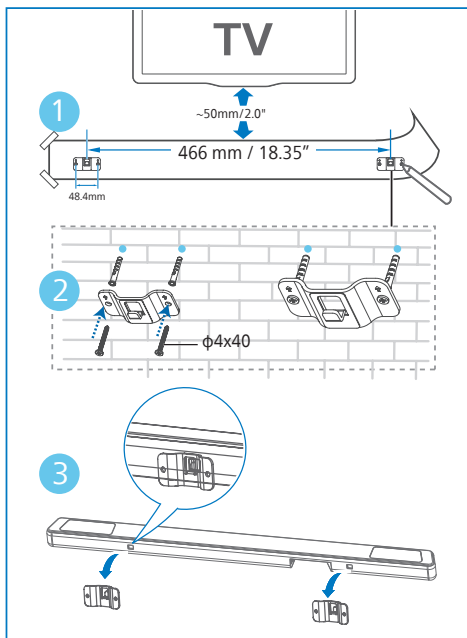
#### 推奨の壁面取り付け高さ

サウンドバーを壁面に取り付けの前に、まずテレビを取り付けることをお勧めします。テレビが事前に設置された状態で、テレビの底面から 50 mm (2.0 インチ) 離れた壁面にサウンドバーを取り付けます。

### 警告

- けがを防止するため、本装置は設置説明書に従って床／壁面にしっかりと固定する必要があります。
- 推奨の壁面取り付け高さ：1.5 m 以下。

- 2 ネジ（付属）とドライバー（付属していない）で壁に壁面取り付けブラケットを締め付けます。しっかりと取り付けられていることを確認します。
- 3 ユニットの壁面取り付けブラケットの位置まで持ち上げ、スロットにかみ合わせて取り付けます。



- 1 平行する 4 つの穴（壁のタイプに応じて直径 3 ~ 8 mm）を壁面に開けます。
  - » 穴間の距離は次のとおりです。  
466 mm / 18.35 インチ
  - » 壁の正しい位置にドリルで穴を開けるために、付属の壁面取り付けテンプレートを使用できます。

## 3 接続

このセクションでは、サウンドバーをテレビやその他の機器に接続してセットアップする方法について説明します。

### 注

- 識別番号および電源供給定格については、製品の背面または底面にある型式プレートを参照してください。
- 接続を確立または変更する前に、すべての機器を電源コンセントから外しておいてください。

## Dolby Atmos®

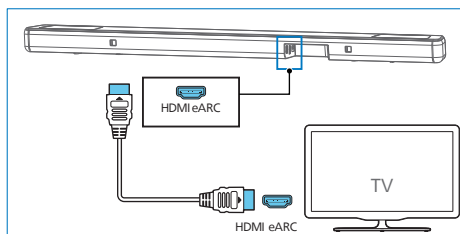
Dolby Atmos は、3次元空間で、豊かでクリアで迫力ある Dolby サウンドをあますところなく再生して、臨場感あふれるリスニング体験を実現します。

詳細については、[dolby.com/technologies/dolby-atmos](https://dolby.com/technologies/dolby-atmos) をご覧ください

## HDMI ソケットへの接続

HDMI eARC (拡張オーディオリターンチャンネル)

サウンドバーは、eARC/ARC (拡張オーディオリターンチャンネル) に準拠した HDMI に対応しています。テレビが HDMI eARC/ARC 対応であれば、HDMI ケーブルだけでサウンドバーからテレビ音声を再生できます。



- 1 テレビで HDMI-CEC 操作をオンにします。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
  - テレビの HDMI ARC コネクタのラベルが異なる場合があります。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- 2 高速 HDMI ケーブルを使用して、サウンドバーの HDMI eARC コネクタをテレビの HDMI eARC コネクタに接続します。

### 注

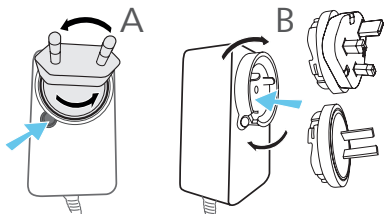
- テレビが HDMI-CEC および ARC 機能に対応している必要があります。HDMI-CEC および ARC をオンに設定する必要があります。
- HDMI-CEC と ARC の設定方法は、テレビによって異なる場合があります。ARC 機能の詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- HDMI ケーブルが ARC 機能に対応していることを確認してください。

## 電源に接続する

- AC 電源コードを接続する前に、他のすべての接続を完了しておいてください。
- 製品損傷の危険があります。電源電圧が、ユニットの背面または底面に印刷されている電圧と一致していることを確認します。

### 変換プラグ

お住まいの地域のアダプタを選択します。必要に応じて、お住まいの地域のアダプタをはめ込みます。

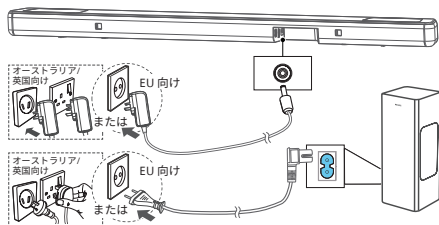


### サウンドバー

- 1 主電源アダプタと主電源ケーブルを巻かれている状態からまっすぐにします。主電源アダプターをサウンドバーの DC IN 18V ソケットに接続します。
- 2 次に、主電源アダプタを主電源ソケットに接続します。

### サブウーファー

- 3 主電源ケーブルをサブウーファーの AC ソケットに接続し、次に主電源ソケットに接続します。
- 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。




- \* 電源コードの数とプラグのタイプは地域によって異なります。

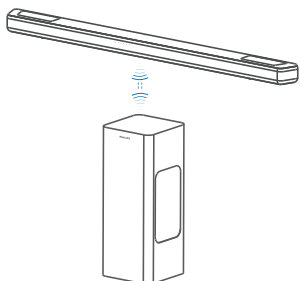
# サブウーファーとのペアリング

## \* ヒント

- サブウーファーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください。

## 自動ペアリング

サウンドバーとサブウーファーを主電源ソケットに接続し、ユニットまたはリモコンの  を押して、ユニットを [ON (オン)] モードに切り替えます。サブウーファーとサウンドバーが自動的にペアリングされます。



- » ワイヤレスサブウーファーのインジケータに基づいてステータスを確認します。


LED の状態	ステータス
速く点滅	サブウーファーがペアリングモードです
点灯	接続／ペアリングに成功しました
ゆっくり点滅	ペアリングされていません

## \* ヒント

- 手動ペアリングを実行する場合以外は、サブウーファーの背面にある [Pair (ペアリング)] ボタンを押さないでください。

## 手動ペアリング

ワイヤレスサブウーファーから音声が聞こえない場合は、サブウーファーを手動でペアリングします。

- 1 サブウーファーとサウンドバーの両方のケーブルを主電源ソケットからいったん抜いて、3 分後に再度接続します。
- 2 サブウーファーの背面にある [Pair (ペアリング)] ボタンを 3 秒間押し続けます。
  - » サブウーファーのインジケータがすばやく点滅します。
- 3 次に、サウンドバーまたはリモコンの  を押して、サウンドバーをオンにします。
  - » 正常に完了すると、サブウーファーのインジケータが点灯します。
- 4 それでもインジケータが点滅し続ける場合は、手順 1～3 を繰り返します。

## \* ヒント

- サブウーファーは、サウンドバーから 6 m 以内のオープンな場所に設置してください（距離が近いほど確実に動作します）。
- サブウーファーとサウンドバーの間に物があれば取り除いてください。
- ワイヤレス接続が再度失敗する場合は、周辺に競合機器または強い干渉源（電子機器からの干渉など）がないか確認します。これらの競合機器または強力な干渉源を除去し、上記の手順を繰り返します。

# 4 サウンドバーの使用

このセクションでは、サウンドバーを使用して、接続された機器からオーディオを再生する方法について説明します。

作業を開始する前に

- クイックスタートガイドおよび取扱説明書に記載されている必要な接続を行います。
- サウンドバーを他の機器に合わせて正しいソースに切り替えます。

## ON と OFF

- まずサウンドバーを主電源ソケットに接続すると、ユニットはスタンバイモードになります。
- リモコンまたはサウンドバーの **⏻** ボタンを押して、サウンドバーのオンとオフを切り替えます。
- サウンドバーを完全にオフにする場合は、主電源ソケットから主電源プラグを外します。

## オートスタンバイ

- テレビまたは外部サウンドバーの接続が失われた（または USB、BT のファンクションビット再生が一時停止した）場合、または電源がオフになった場合、約 **15 分**後にサウンドバーは自動的にスタンバイモードになります。
- 自動スタンバイ（15 分経過後に自動的にスタンバイ状態になる）を有効または無効にするには、電源オン状態で **⏻** ボタンを **8 秒間**長押しします。

### 注

- HDMI (ARC) モードでは、オーディオ再生がないまま約 15 分経過すると、ネットワークスタンバイモードになります。
- USB および Bluetooth モードでは、オーディオ再生がないまま約 15 分経過すると、ユニットは自動的にスタンバイモードになります。

## モードの選択

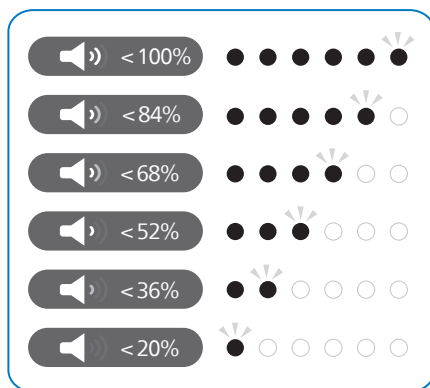
サウンドバーまたはリモコンの **⦿** (ソース) ボタンを繰り返して押し、HDMI eARC、BT、USB モードを選択します。

- 再生ソースを切り替えると、それに応じてフロントインジケータが点灯します。

## 音量の調整

サウンドバーの音量を調整する

- 音量を調整するには、[Vol+/Vol-] (音量) を押します。
  - 音量を調整すると、インジケータの明るさが増減します。以下の図に示す対応するライトの表示/点滅に従って、現在の音量レベルを決定します。



- サウンドをミュートするには、**⏻** (ミュート) を押します。
- 音声を元に戻すには、もう一度 **⏻** (ミュート) を押すか、Vol+/Vol- (音量) を押します。

低音レベルを調整する


- 低音レベルを調整するには、低音 +/- ボタンを押します。

トレブルレベルの調整

- 高周波数域 (トレブル) を調整するには、[Treble +/-] ボタンを押します。

低音／トレブル	LED の状態
-5	○◎●●●●●
-4	○○◎●●●●
-3	○○○◎●●●
-2	○○○○◎●●
-1	○○○○○◎●
0	●○○○○○◎
+1	○◎○○○○○
+2	○●◎○○○○
+3	○●●◎○○○
+4	○●●●◎○○
+5	○●●●●◎○

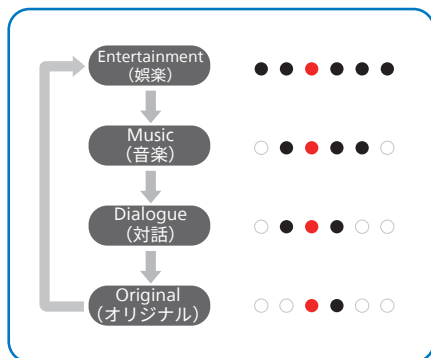
## IntelliSound コントロール

リモコンの  ボタンを押して、AI/ プリセット / カスタム モードを切り替えます。デフォルトのモードは AI です。


## イコライザー (EQ) エフェクトを選択

ビデオや音楽に合わせて、あらかじめ定義されたサウンドモードを選択します。

- 1 リモコンの [EQ] ボタンを押して、希望のプリセットされたイコライザー効果を選択します。
- 2 EQ ボタンを押してモードを切り替えます。
  - » LED は 3 秒間点灯し、EQ モードの定義に従って現在の EQ モードを表示します。



## LED 表示のオン／オフインジケーター

-  (ミュート) ボタンを 5 秒間長押しすると、LED 表示が有効 / 無効になります。
  - » OFF (オフ)：いずれかのボタンを押すと、点灯した LED は通常の状態に戻ります。LED は 10 秒間のアイドリング後に自動的に消灯します。
  - » ON (オン)：点灯した LED は自動的に消灯しません。

### \* ヒント

- スタンバイ中は、LED の表示がオフに設定されているとしても、スタンバイ LED がオンになります。

## DTS Virtual X / Dolby Atmos バーチャライザー

DTS Virtual:X / Dolby Atmos バーチャライザーにより、部屋の大きさ、レイアウト、スピーカーの構成に関係なく、多次元サウンドを楽しむことができます。

DTS Virtual:X テクノロジーは、DTS 独自の仮想の高さと仮想のサラウンド処理を特徴としており、あらゆるタイプの入力ソース (ステレオから 5.1.2ch まで) やスピーカー構成から臨場感あふれるサウンド体験を実現します。

- 1 アプリ経由でバーチャライザーを有効または無効にします。DTS コンテンツには、DTS Virtual X を使用するか、Dolby Atmos バーチャライザーを使用する必要があります。表示は次のようになります。

ステータス	LED の状態
ON	○ ○ ● ● ○ ○ → (DTS オン) ● (2つの点灯 LED が中央から左右に移動)
OFF	● ○ ○ ○ ○ ● → (DTS オフ) ○ (2つの点灯 LED が左右から中央に移動)

- ON (オン) : このモードでは、DTS Virtual X を使用するか、Dolby Atmos バーチャライザーを使用する必要があります。
- OFF (オフ) : DTS Virtual X や Dolby Atmos バーチャライザーを使用しないでください。

## 自動音量調節






自動音量を夜間モードと組み合わせます。AVL ボタンを押して、自動音量調節のオン/オフまたは夜間モードを切り替えます。

ステータス	LED の状態
OFF	○ ○ ● ● ○ ○
ON	○ ● ● ● ● ○
NIGHT	● ● ● ● ● ●


- OFF (オフ) : 「自動音量調節」を使用しません。
- ON (オン) : さまざまなソースやコンテンツのタイプにリアルタイムで反応して、音量を一定に維持します。
- NIGHT (夜間) : あらゆるソースとコンテンツのタイプに対して一定の音量を維持し、音声や会話が強調されるようにして、静かなリスニング環境で聞き取りやすくなるようにします。

## Bluetooth 機器での再生

Bluetooth を利用して、サウンドバーを Bluetooth 機器 (iPad、iPhone、iPod touch、Android フォン、ラップトップなど) に接続し、機器に保存されているオーディオファイルをサウンドバーのスピーカーから聴くことができます。

- 1 サウンドバーの  ボタンかリモコンの  (ソース) を押して Bluetooth モードを選択します。
  - » BT インジケーターが点滅します。
- 2 Bluetooth 機器で Bluetooth をオンにし、Philips TAB8301 (xxxx) を検索して選択し、接続を開始します (Bluetooth を有効にする方法については、Bluetooth 機器の取扱説明書を参照してください)。
  - » 接続中は、BT インジケーターが点滅します。
- 3 サウンドバーから音声ガイドが聞こえるまで待ちます。
  - » 正常に接続されると、BT インジケーターが点灯します。
- 4 Bluetooth 機器でオーディオファイルまたは音楽を選択して再生します。
  - » Bluetooth 機器が AVRCP プロファイルに対応している場合は、リモコンで  [ / ]  を押してトラックにスキップしたり、 を押して再生を一時停止 / 再開したりできます。

Bluetooth を終了するには、次のようになります。

- ユニットを別のソースに切り替えます。
- Bluetooth 機器から機能を無効にします。または、Bluetooth 機器を最大動作範囲外に置きます。音声ガイドが出された後、Bluetooth 機器がユニットから切断されます。
- サウンドバーの  ボタンを押し続けます。

## 注

- 障害物のないオープンな場所サウンドバーと Bluetooth 機器の最大動作範囲は約 10 m (30 フィート) です。
- すべての Bluetooth 機器との互換性が保証されているわけではありません。
- 機器とサウンドバーの間に障害物があると、音楽のストリーミングが中断される場合があります。たとえば、壁、機器を覆う金属製のケース、または同じ周波数で動作する近くにある他の機器などです。


## BLE アプリ コントロール

- BLE アプリはソースを選択でき、更新されたソースをサウンドバーに送信します。ローカル キーまたはリモコンによるソースの切り替えは LED に表示されます。
- BLE アプリによりサポートされるサウンド コントロールは次のとおりです。ローカル コントロールと同じように表示されます。
- ローカル キーによって変更された次の項目が BLE アプリに表示されます。

機能	説明
主音量	音量の上げ下げ (1 ステップごと)
ミュート	サウンドバーのミュート / ミュート解除
音声情報	表示フォーマット
IntelliSound	AI/ プリセット / カスタムモードの選択
サウンドスタイル	エンターテインメント / 音楽 / ダイアログ / オリジナルモードの選択
トーンコントロール	高音 / 低音コントロール (-5 ~ +5)
AVL	オフ / オン / 夜間モードの選択
AV シンク	0-200 ミリ秒
センタートリマー	/
サブウーファートリマー	-5 から +5
左上 / 右上トリマー	-5 から +5
部屋のキャリブレーション	部屋全体のキャリブレーションプロセスの開始

## 外部機器での再生

サウンドバーがテレビまたはオーディオ機器に接続されていることを確認します。

- 1 サウンドバーまたはリモコンの  (ソース) ボタンを繰り返し押し、HDMI eARC モードを選択します。
  - » サウンドバーのインジケータライトに、現在使用中のモードが表示されます。
- 2 オーディオ機器を直接操作して再生機能を有効にします。
- 3 + / - (音量) ボタンを押して、音量を希望のレベルに調整します。

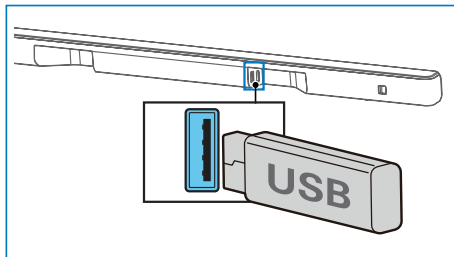
### 注


- HDMI ARC モードでは、ユニットからの音声出力がなく、ステータス インジケータが点滅しているときには、ソース機器 (テレビ、DVD、Blu-ray プレーヤーなど) で PCM または Dolby Digital 信号出力を有効にすることが必要になる場合があります。

## USB を使用したオーディオの再生




MP3 プレーヤーや USB フラッシュメモリなどの USB ストレージ機器でオーディオを楽しむことができます。

- 1 USB 機器を挿入します。



- 2 サウンドバーまたはリモコンの  (ソース) ボタンを繰り返し押し、USB モードを選択します。
- 3 再生時には次の操作ができます。

### ボタン 操作

- |   |                  |
|---|------------------|
|  | 再生の開始、一時停止、または再開 |
|  | 前のトラックにスキップ      |
|  | 次のトラックにスキップ      |

### 注

- 本製品は、特定のタイプの USB ストレージ機器と互換性がない場合があります。
- USB 延長ケーブル、USB ハブ、または USB 多機能カードリーダーを使用すると、USB ストレージ機器が認識されない場合があります。
- ファイルの読み取り中に USB ストレージ機器を取り外さないでください。
- システムは、最大 128 GB のメモリーを持つ USB 機器をサポートできます。
- このシステムは MP3 / WAV / FLAC を再生できます。

## 工場出荷時の状態にリセットする

デバイスをデフォルト設定にリセットします。

- サウンドバーの電源をオンにして、**+** ボタンと **-** ボタンを同時に 8 秒間長押しします。
  - » すべての LED が 5 秒間点灯し、スタンバイ LED が赤色に点灯します。

項目	デフォルト設定
Sound mode (サウンドモード)	Entertainment (娯楽)
Master Volume (主音量)	10 (70-75db SPL)
Subwoofer Volume (サブウーファース音量)	0
Treble/Bass (高音 / 低音)	0
IntelliSound	AI
Auto Volume (自動音量)	OFF (オフ)
Night (夜間)	OFF (オフ)
Source (ソース)	HDMI-ARC
BT pairing info (BT ペアリング情報)	Clear (クリア)
AV SYNC (AV 同期)	0
Display (ディスプレイ)	ON (オン)
Auto Standby (Auto Power Down) (自動スタンバイ (自動電源オフ))	ON (オン)
Room calibration data (部屋のキャリブレーションデータ)	Clear (クリア)

# 5 製品仕様

## 注

- 仕様および設計は予告なく変更されることがあります。

## Bluetooth / ワイヤレス

Bluetooth プロファイル	A2DP、AVRCP
Bluetooth バージョン	V 5.4
Bluetooth 周波数範囲 / 送信機電力 (EIRP)	2402 ~ 2480 MHz、10 dBm 未満

## アンプ部

合計	RMS 190W @THD <=10% 最大 380W
----	--------------------------------

## サウンドバー

電源	DC 18.0V ≒ 2.0A
アダプター (メインユニット用)	
モデル:	ICP48C-180-2000 (互換性のある 3 ピン BS 1363-1 と 2 ピン (EN 50075))
入力:	100-240V~ 50/60Hz 1.3A
出力:	18.0V ≒ 2.0A ◇—●—◇
消費電力	36.0 W
スタンバイ時の消費電力	標準スタンバイモード: 0.50 W 未満 ネットワークスタンバイモード: 2.0 W 未満
周波数応答	180 Hz ~ 20 KHz

スピーカーのインピーダンス	8 Ω x 5
USB デイ렉トバリエーション	2.0 フルスピード
USB	5V ≒ 500mA
サイズ (幅 x 高さ x 奥行き)	826 x 44 x 55 mm
重量	1.00 kg
動作温度	0°C ~ 40°C

## サブウーファー

電源	AC 100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電力	40W
スタンバイ時の消費電力	< 0.50 W
周波数応答	35 Hz ~ 180 Hz
インピーダンス	3 Ω
寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)	155 x 391 x 161 mm
重量	3.85 kg
動作温度	0°C ~ 40°C

## リモコン

距離 / 角度	6 m / 30°
電池タイプ	単 4 形 (1.5V x 2)

## サポートされているオーディオ形式

HDMI eARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、LPCM 7.1ch、Dolby Digital、Dolby Digital plus、Dolby True HD、Dolby MAT、Dolby Atmos - Dolby Digital Plus、Dolby Atmos - TrueHD、Dolby Atmos - Dolby MAT、DTS Digital surround 5.1
HDMI ARC	LPCM 2ch、LPCM 5.1ch、Dolby Digital、Dolby Digital plus、Dolby Atmos - Dolby Digital Plus、DTS Digital surround 5.1
Bluetooth	SBC
USB	MP3 / WAV / FLAC

# 6 トラブルシューティング

## 警告

- 感電の危険がありますので、本製品のケーシングは絶対に取り外さないでください。

保証の効力を失わないためにも、本製品は絶対に自力で修理しようとししないでください。本製品を使用していて、故障かな、と思った場合でも、次のような点を確認した上で修理を依頼してください。それでも問題は解決しない場合は、以下でサポートを依頼してください。


[www.philips.com/support](http://www.philips.com/support)

## メインユニット

メインユニットのボタンが機能しない。

- 電源から数分間電源ケーブルを取り外し、それからもう一度接続します。

電源が入らない

- AC コードが正しく接続されているようにします。
- コンセントは電力が確実に来ているものを選びます。
- リモコンまたはサウンドバーの  ボタンを押して、サウンドバーをオンにします。

## サウンド

サウンドバースピーカーから音が出ない。

- サウンドバーのオーディオケーブルをテレビやその他の機器に接続します。ただし、次の場合は、別のオーディオ接続は必要ありません。
  - サウンドバーとテレビが HDMI ARC 接続によって接続されている。
  - 機器がサウンドバーの HDMI IN (HDMI 入力) コネクタに接続されている。
- リモコンで、正しいオーディオ入力を選択します。

- サウンドバーがミュートになっていないことを確認します。

サウンドがひずむ、あるいはエコーがかかる。

- オーディオをテレビから本製品で再生する場合は、テレビをミュートにしておきます。

ワイヤレスサブウーファーから音が出ない。

- サブウーファーをメインユニットに手動で接続します。
- 音量を上げます。リモコンまたはサウンドバーの「+」(音量を上げる)を押します。
- いずれかのデジタル入力を使用しているときに音声が出ない場合には、次のようにします。
  - TV 出力を PCM に設定してみる。
  - Blu-ray/ その他のソースに直接接続する。
  - 一部のテレビがデジタルオーディオに対応していない。
- テレビが可変オーディオ出力に設定されている可能性があります。オーディオ出力設定が「VARIABLE (可変)」ではなく、「FIXED (固定)」または「STANDARD (標準)」に設定されていることを確認します。詳細については、テレビの取扱説明書を参照してください。
- Bluetooth を使用している場合は、ソース機器で音量が上げられており、ミュートされていないことを確認します。

## Bluetooth

機器をサウンドバーに接続できない。

- 機器がサウンドバーに必要な互換性のあるプロファイルに対応していません。
- 機器の Bluetooth 機能が有効になっていない。機能を有効にする方法については、機器の取扱説明書を参照してください。
- 機器が正しく接続されていません。機器を正しく接続してください。
- サウンドバーはすでに別の Bluetooth 機器に接続されています。接続されている機器を切断してから、再試行してください。

接続された Bluetooth 機器からのオーディオ再生の音質が良くない。

- Bluetooth の受信状態が良くありません。機器をサウンドバーの近くに移動させるか、機器とサウンドバーの間に障害物があればそれを取り除きます。

Bluetooth 機器でこのユニットの Bluetooth 名が見つからない。

- Bluetooth 機器で Bluetooth 機能が有効になっていることを確認します。
- ユニットと Bluetooth 機器を再度ペアリングします。

---

### リモコンが機能しない

- 再生コントロールボタンを押す前に、まず正しいソースを選択してください。
- リモコンとユニットの距離をさらに近づけます。
- 図に示すように、電池を正しい極性(+/-)にして挿入します。
- 電池を交換します。
- リモコンをユニット前面のセンサーにまっすぐ向けて操作します。

---

サブウーファーがアイドル状態になっているか、サブウーファーのインジケータが点灯しない

- 電源ソケットから電源コードを抜き、3 分後にもう一度電源コードを接続して、サブウーファーをリセットします。

# 7 商標



Adopted Trademarks HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI トレードドレス、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。

## Dolby Atmos

Dolby、Dolby Atmos、および 2 つの D の記号は、Dolby Laboratories Licensing Corporation の登録商標です。Dolby Laboratories からのライセンスを受けて製造されています。Confidential unpublished works. Copyright © 2012–2024 Dolby Laboratories、All rights reserved.

## Bluetooth

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、MMD Hong Kong Holding Limited によるこれらの商標の使用はライセンスを受けています。その他の商標および商標名は、それぞれの所有者のもです。



DTS, Inc. および / またはその関連会社のライセンスのもと製造。特許については、<https://xperi.com/dts-patents/>、DTS、DTS ロゴ、DTS:X、DTS:X ロゴ、Virtual:X、および DTS Virtual:X ロゴは、米国および / またはその他の国における DTS, Inc. および / またはその関連会社の商標または登録商標です。© DTS, Inc. および / またはその関連会社。All rights reserved.



**JP** Roku TV™ をご利用の場合、HDMI ケーブルを ARC ポートに接続し、Roku TV Ready™ の画面上の指示に従ってください。

Roku、Roku ロゴ、Roku TV、Roku TV Ready、および Roku TV Ready ロゴは、Roku, Inc. の商標および / または登録商標です。本製品は、米国、カナダ、英国、メキシコ、ブラジルで Roku TV Ready に対応しています。対応国は変更される場合があります。Rokutvready@roku.com までメールでお問い合わせください。

**FR** Si vous avez un Roku TV™, la configuration est simple. Utilisez juste le câble inclus pour brancher votre barre de son au port HDMI ARC de votre télé et suivez les instructions à l'écran.

Roku TV, Roku TV Ready et le logo Roku TV Ready sont des marques de commerce de Roku Inc. Ce produit est certifié Roku TV Ready au/en états-Unis, Canada, Royaume-Uni, Mexique et Brésil. La liste de pays peut varier. Pour obtenir la liste la plus récente des pays dans lesquels ce produit est pris en charge par Roku TV Ready, veuillez envoyer un courriel à [rokutvready@roku.com](mailto:rokutvready@roku.com).

**ES** Si tienes una Roku TV™, la configuración es fácil. Solo tienes que usar el cable incluido para conectar la barra de sonido al puerto HDMI ARC de la TV y seguir las instrucciones que aparecen en pantalla.

Roku TV, Roku TV Ready y el logotipo de Roku TV Ready son marcas comerciales de Roku, Inc. Este producto es compatible con Roku TV Ready en Estados Unidos, Canadá, Reino Unido, México y Brasil. Los países están sujetos a cambios. Para obtener la lista más actualizada de países en los que este producto es compatible con Roku TV, envía un correo electrónico a [rokutvready@roku.com](mailto:rokutvready@roku.com).



仕様は予告なく変更されることがあります。最新のアップデートとドキュメントについては、[www.Philips.com/support](http://www.Philips.com/support) をご覧ください。Philips および Philips Shield のエンブレムは Koninklijke Philips N.V. の登録商標であり、ライセンスを受けて使用されています。本製品は MMD Hong Kong Holding Limited またはその関連会社の責任において製造され、販売されています。MMD Hong Kong Holding Limited は、本製品に関する保証者です。

